

キャラクター名
古河允次

プレイヤー名

シンドローム	ウロボロス		ワークス	UGNエージェントB	カヴァー	UGNエージェント
	ウロボロス					
オプション	年齢		33歳	性別		♂
覚醒	死	衝動	飢餓	初期侵食率		40%
出自	兄弟(允一 まさかず)		経験	死と再生	邂逅	恩人

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	28
肉体	2	0	0			2	行動値	20
感覚	2	1	2	3		8	(非装備時)	20
精神	4	0	0			4	戦闘移動	25
社会	0	0	1			1	全力移動	50

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	10		RC	1		交渉		
回避			知覚	1		意志			調達	8	
運転:			芸術:			知識:			情報:ヒーロー	4	
運転:			芸術:			知識:			情報:裏社会	5	
運転:			芸術:			知識:			情報:ヴィラン	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
カジノディーラー	射撃	12r+8		11		攻撃の対象が1点でもダメージを受けている場合、ダイス+4個
正義を喰らいし悪魔<Justice Eater>	射撃	12r+8		32		コスト8。螺旋前提。コンセ+魔弾+要。対象3体。ガード値-21。
犠牲の上に立つ者<Sacrifice Eater>	射撃	12r+8		72		コスト12。螺旋、費前提。コンセ+魔弾+灰値+要。対象3体。ガード値-21。
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
ヒーローズクロス	
ユニバーサルフォン	
コネ:Vネットの影	
アンチレネガイドシエル	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
裏切りの正義	P 傾倒	N 執着		
古河允一	P 同情	N 悔悟		
提供くん	P 連帯感	N 疎外感		
異動の敵<リオンブライト>/敵 正田(しあすま)	P 感服	N 罪悪感		
ルナール店長	P 信頼	N 不安		
昇華)エンプティ・ダンプティ	P 尽力	N 隔意		
フォレストジュピター	P 尽力	N 隔意		

最大財産P: 18 残り財産P: 5

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンセントレイト:ウロボロス	2	2	Xジャー	-	-	-	-	
効果: C値を-LV								
螺旋の悪魔(5+2)	7	3	セットアップ	至近	自身	自動	-	
効果: 暴走。ラウンド間ウロエフェ組み合わせで攻撃力+[LV*3]								
喰われし贄(3+2)	5	1	オート	至近	自身	自動	-	
効果: 1点でもダメージを与えた時に使用。シーン間ウロエフェ組み合わせで攻撃力+[LV*3]								
灰燼に帰すもの(3+2)	5	4	Xジャー	-	-	対決	リミット	
効果: 前提:喰られし贄。贄の効果中のみ使用可。組み合わせた攻撃の攻撃力+[LV*5]。贄の効果は終了する。								
影縛りの魔弾(5+2)	7	2	Xジャー	武器	-	対決	-	
効果: 命中した場合そのR間対象が行うガード値を-[LV*3]								
原初の赤:要の陣形(3+2)	3	4	Xジャー	-	3体	-	-	
効果: 対象3体に変更。シナリオLV回。								
[UI] エナヴェイトD	1							
効果:								
まだらの紐	1	1	Xジャー	視界			-	
効果: 影に知覚能力を持たせ、端末と化させる。								
闇夜の烏	1	-	Xジャー	至近	自身	自動	-	
効果: 自らの姿を影の中に溶けさせることで、影の中を自由に動き回る。								
チャンピオンズマスク	1	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果: 人前に出てても正体が露見しなくなる。								
効果:								
効果:								
効果:								

レネウオ君。元ヴィラン。こが じょうじ。オールドクロー。本物はとうにいない。兄はもういない。

俺/お前。あんた。言葉数も抑場も少なめ。カジノ時代は饒舌だったが、今はそんな口調を思い出したくない。

カジノ「レーヴ・デ・パラディ」で働く傍ら、薬の売人として動いていたヴィラン。当時はまだオーヴァードに覚醒していなかったものの、金銭に目が眩み、また自身も薬に手を出していたこともあり好き放題に悪事に荷担していた。しかし2年前、カジノの上層部から罪の擦り付けにより切り捨てられることになる。訳も分からぬまま殺された——そう思われたが、その最中にオーヴァードに覚醒。一命は取り留めてしまった。路地裏に捨てられていたところを拾われ、UGNに保護される。目が覚め、事態を理解したところで、非オーヴァードでありカジノや薬とは全くの無縁であったはずの兄が薬漬けにより入院していることを知る。自分の行ってきたことは許されざる罪であると理解をしながら、いまだ裁かれていないかつての自分の働き場、カジノへの恨みを募らせる。それ以来、ヴィランからは一転、ヒーローとして悪事を罰する側へと立場を変えた。奴らにはまだ知られるわけにはいかない。知られる前に、奴らの尻尾を掴んで、俺がこの手で処分してみせる。その憎悪を心に燃やしながら、静かにヒーロー活動を続けている。

覚醒した際に薬物への依存は抜け出している。しかし、ふとした弾みで薬を欲してしまう自身には嫌気がさしている。兄のことは助けたい。しかし、兄には合わせる顔がない。助けることができたとしても、恐らくその時その場に、自分はいないだろうと考えている。